

形 RV2-□□0
シールキット
部品交換要領書

本部品交換要領書は下記メンテナンスキットの品番に対するものです。
お手元のメンテナンスキットの品番が、下表内にあることを確認ください。

メンテナンスキットの品番
MK0755, MK0756

ご注文・ご使用に際しては下記 URL により「ご注文・ご使用に際してのご承認事項」を必ず読んでいただきたくお願い申し上げます。

<https://atc.azbil.com/jp/product/cp/order.html>

[ご注意]

この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

本資料からの無断転載、複製はご遠慮ください。

アズビルTACO株式会社 <https://atc.azbil.com/>

2013年4月1日、TACO株式会社はアズビル TACO 株式会社へ社名を変更いたしました。
東京都板橋区高島平 9-27-9 TEL: 03-3936-2311

安全上のご注意（必ずお守りください）

本製品は高い品質と信頼性を有していますが、万が一、当製品が故障した場合でも、人身事故や火災事故、多大な損害の発生などを生じさせないよう、お客さまの機械・装置において安全を確保されるようお願いいたします。

また、お使いになる方や、他の方への危害、財産への損害を未然に防止するためにお守りいただくことを、次のように説明しています。本文中の注意事項についても良くお読みのうえ、正しくお使いください。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の記号で説明しています。

 **注意** 実行していただく「指示」内容です。

警告

 交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。

 作業終了後、ねじ込み部に緩みがないことを確認する。

《作業開始前》



警告



交換作業は、エアの供給を止め、圧力をゼロとしてから行う。

同梱物の確認

① x 1 式	② x 1 式	③ x 1 本
		
ダイヤフラム アセンブリ	バルブアセンブリ	Oリング

分解および組立に必要な工具、ウエス等については、お客様にてご用意ください。
作業を行うための作業台をご用意ください。

必要工具：スパナ 対辺 17mm、対辺 46mm

《分解手順》(図 1)

1. ボンネットの取り外し

調圧ノブタイプボンネットの場合

- 1-1. 調圧ノブを引き上げ、反時計方向に回してゆるめます。
- 1-2. ボンネットをスパナでゆるめ、取り外します。

調圧ハンドルタイプボンネットの場合

- 1-1. ロックナットをゆるめ、調圧ハンドルを反時計方向に回してゆるめます。
- 1-2. ボンネットをスパナでゆるめ、取り外します。
- 1-3. ばね受けを取り外します。

2. 調圧ばね、スリップリング、ダイヤフラムアセンブリを取り外します。

3. 本体下部のプラグをゆるめて取り外します。

プラグから O リングを取り外します。

4. 弁ばね、バルブアセンブリを取り外します。

※ 取り外したダイヤフラムアセンブリ、バルブアセンブリおよび O リングは使用しません。

産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。

《組立手順》(図 1)

1. プラグの溝に O リング③を装着します。

2. バルブアセンブリ②を本体の底面から挿入します。

3. 挿入したバルブアセンブリ②の上に弁ばねをのせます。

4. 1. のプラグを被せ、押し付けながらねじ込んで本体に固定します。

ねじ込み後、本体とプラグアセンブリの間に隙間が無いことを確認します。

5. 本体の上面にダイヤフラムアセンブリ①をのせます。

6. ダイヤフラムアセンブリ①の上にスリップリングをのせます。

7. ダイヤフラムアセンブリ①の上に調圧ばねをのせます。

8. ボンネットの取付け

調圧ノブタイプボンネットの場合

- 8-1. ボンネットを本体に被せ、手で止まるまでねじ込み、スパナで締めこんで固定します。

締め付けトルク：60 N・m

調圧ハンドルタイプボンネットの場合

- 8-1. 調圧ばねの上にばね受けをのせます。

- 8-2. ボンネットを本体に被せ、手で止まるまでねじ込み、スパナで締めこんで固定します。

締め付けトルク：60 N・m

《交換後の試験運転》



警告



作業終了後、ねじ込み部に緩みがないことを確認する。

圧力を復帰する前に、調圧ノブまたは調圧ハンドルを反時計方向に回し、ゆるんでいることを確認します。

圧力を復帰し、下記項目を確認してください。

1. ポートからのエア漏れの有無

- ・調圧ノブまたは調圧ハンドルがゆるんだ状態で OUT ポートからのエア漏れが無いこと。

2. レギュレータの作動状態

- ・調圧ハンドルを時計方向に回し、OUT 側圧力がスムーズに上昇すること。

続けて、調圧ハンドルを反時計方向に回し、OUT 側圧力が減圧すること。

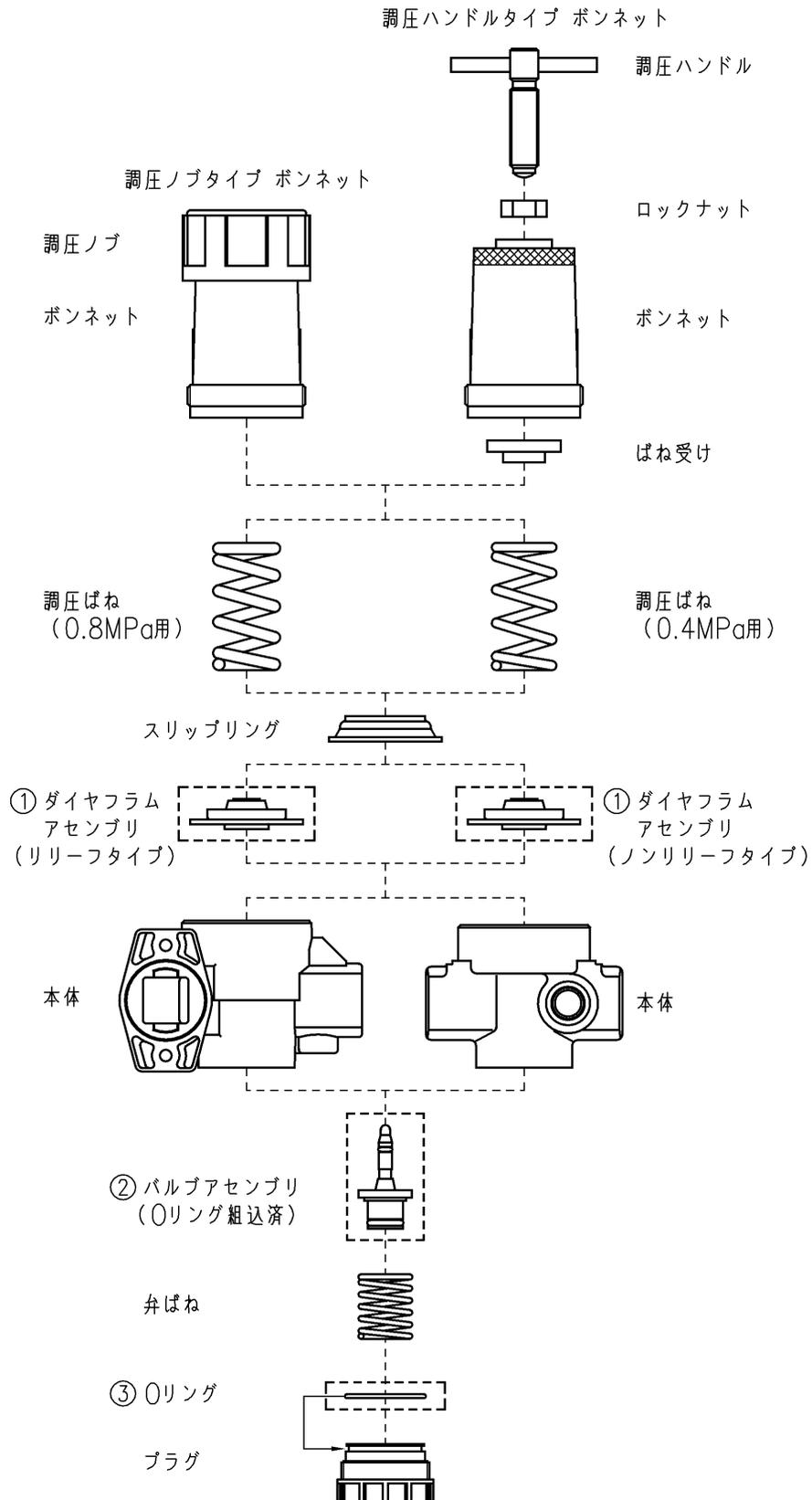
注意：ノンリリーフタイプの場合、OUT 側が閉回路状態では、減圧することはできません。

OUT 側に排気用バルブを設けてください。

3. 接続部からのエア漏れの有無

- ・本体とプラグの間、ダイヤフラムの締付部から空気の漏れがないこと。

図 1



-MEMO-
